

この映画は、赤い羽根共同募金の啓発を目的に開催します。



福祉映画上映会

令和4年11月13日(日)

士別市民文化センター大ホール
(士別市東6条4丁目)

① 午前の部

② 午後の部

上映10:00～(受付 9:30) 上映13:30～(受付13:00)

入場料 500円(チケットは、士別市社協で取り扱いしております。当日券あり)

主催 士別市共同募金委員会

共催 士別市・士別市社会福祉協議会・士別市ボランティアセンター

問合わせ 士別市共同募金委員会事務局(士別市東5条3丁目1-1 士別市社会福祉協議会内)
電話 0165-22-3012 FAX 0165-22-3019

新型コロナウイルス感染拡大防止のためお願い

- ・来場の際はマスクの着用をお願いいたします。
- ・37.5℃以上の発熱・風邪症状がある方は来場をお控え下さい。



あなたの心に
寄り添い続ける
《感動》が、ここに！

生き抜いた！ 医師として、夫として、父として——
「心のケア」のパイオニアの半生を描くヒューマンドラマ。待望の映画化！



1995年、阪神・淡路大震災時、自ら被災しながらも、被災者の「心のケア」に奔走した若き精神科医・安克昌氏。本作は、当時の記録を綴った同氏の著書「心の傷を癒すということ 神戸…365日」(第18回サントリー学芸賞受賞)を原案として、NHKでドラマ化された本編を再編集。心のケアの大切さが高まる今、劇場公開となった。

実在の人物をモデルに描く本作の主演・安和隆あんかずたかに扮するのは、高い演技力に定評のある柄本佑。その彼を支え続ける妻・終子役には、海外での受賞歴もあり数々の映画・ドラマで活躍中の尾野真千子。また、和隆の父を石橋凌、母をキムラ緑子、兄を森山直太朗、弟を上川周作が好演。さらに、濱田岳、濱田マリ、近藤正臣と、脇を固める実力俳優優たちが集結した。



STORY 幼少期に自分のルーツが韓国にあると知って以来、自分は何者なのか模索する安和隆(柄本佑)。やがて、人の心に関心を持ち、父(石橋凌)に猛反対されるも精神科医の道を志す。

そんな中、映画館で出会った終子(尾野真千子)と恋に落ちる。精神科医となった和隆は、終子とおだやかな家庭を築いていた。しかし、第一子が誕生してまもなく、大地震が神戸の街を襲う。和隆は避難所で多くの被災者の声に耳を傾け、心の傷に苦しむ人たちに寄り添い続け、「心のケア」に奔走する。

5年後、街は徐々に復興を遂げ、和隆も新しい病院に移り、理想の医療に燃えていたが、ある日、和隆にがんが発覚する——。



柄本 佑

尾野真千子 濱田岳 森山直太朗 浅香航大
清水くるみ 上川周作 濱田マリ
谷村美月 趙珉和 内場勝則 平岩紙 / キムラ緑子 石橋凌 近藤正臣

主題歌：森山直太朗「カク云フボクキ」(UNIVERSAL MUSIC)

原案：安克昌「心の傷を癒すということ 神戸…365日」(NHK) 脚本：桑原 義子 音楽：世武裕子

配給：ギャガ GAGA* 配給協力：大手広告 (株) (03) 5561-1111

本作のモデルとなった

精神科医 安克昌氏

1960年生まれ。神戸大学附属病院精神科勤務を経て、神戸市西市民病院精神科医長を務める。阪神・淡路大震災直後より、全国から集まった精神科ボランティアをコーディネートし、避難所などで診療活動に尽力。

PTSD(心的外傷後ストレス障害)の研究者として治療活動を行うも、2000年12月、39歳で死去。



gaga.ne.jp/kokoro [@gagamovie](https://twitter.com/gagamovie) facebook.com/gagajapan [@gagamovie](https://instagram.com/gagamovie)

